

事務連絡
令和6年5月17日

各都道府県 御中
各政令指定都市 御中

地域脱炭素ネットワークイベント
参加地方公共団体の募集について

環境省大臣官房地域政策課
地域循環共生圏推進室

平素より、地域脱炭素の取組にご協力賜り厚く御礼申し上げます。

環境省はこの度、標記の地域脱炭素※の実現に向けた企業と地方公共団体とのネットワークイベントを対面で開催するにあたり、参加する地方公共団体を30団体程度募集いたします。

地方公共団体が地域脱炭素に向けた施策・事業を推進するに当たり、予算・人材の確保に加え、施策・事業の立案・実施段階において協業する企業の不在が課題となっています。これを解消する一助として、専門的な技術やノウハウを有する企業とのマッチングを行うことを目的として、本イベントを開催いたします。

本イベント当日は、ご参加いただく地方公共団体には、企業との協業により解決したい地域課題や取り組みたい事業についてプレゼンテーションいただいた後、地方公共団体にご興味のある企業と個別に面談いただくこととなります。

本イベントが、地方公共団体のニーズに対して興味関心をもつ企業と出会う機会となり、地域脱炭素の推進に一層貢献できればと存じます。ぜひご参加ください。

つきましては、お忙しい中大変恐縮ですが、各都道府県及び政令指定都市内の関連部署、並びに管内の市区町村担当部局に対して周知いただきますようお願い申し上げます。

※地域脱炭素とは、脱炭素を成長の機会と捉える時代の地域の成長戦略であり、自治体・地域企業・市民など地域の関係者が主役になって、今ある技術を使って、再エネ等の地域資源を最大限活用することで実現でき、経済を循環させ、防災や暮らしの質の向上等の地域の課題をあわせて解決し、地方創生に貢献するものです。

1. 開催概要について

日 時：令和6年8月30日（金）10：00～17：00

主 催：環境省

対象者：地方公共団体及び企業

※企業の募集（60社程度）は後日開始します。

参加費：無料。各地方公共団体に対して、最大2名分の旅費を環境省から負担します。

会 場：東京国際フォーラム

2. プログラム内容について（予定）

【午前】

10：00 開会挨拶

10：05 プログラム説明

10：10 地方公共団体プレゼンテーション・指定企業によるピッチ【30団体×3分】

（前半10：10-11：05 / 休憩 / 後半11：15-12：10）

【午後】

13：20 地方公共団体と企業のマッチング会（個別ブース）【8クール×14分】

（前半13：20-14：25 / 休憩 / 後半14：40-15：45）

※各ブースにファシリテーターを配置

15：50 名刺交換交流会（自治体様から企業様を指名して名刺交換を行うことも可能です）

17：00 閉会 ※以降自由解散となります。会場は17：30頃までは使用可能です。

3. 申込みについて

（1）申込方法

別添の申込フォームに必要事項をご入力の上「sokan-keikaku@env.go.jp」まで、電子メールにて送付ください。

（2）締切日時

令和6年6月11日（火）17：00まで

選定結果は、令和6年6月中旬頃にご連絡いたします。

こちらのサイトに、過去のイベントで各地方公共団体が作成した資料を公開しておりますので、ぜひご参照ください。（<https://local-re-jinzai.env.go.jp/carbon-neutral-nw/public/>）

（3）留意点

- ①本マッチング会のご登壇者様には、皆様がお持ちの課題意識を企業の方にわかりやすく伝えるため、プレゼンテーションの内容や技術等に関して専門家と意見交換を行うオンライン事前面談（メンタリング）に、7月頃から2回程度（各回30分程度）ご参加いただきます。メンタリングの開催日程は、ご登壇いただく地方公共団体が決まったのちに、改めてご連絡いたします。

②本会は開催テーマに「地域脱炭素」を設定しております。応募多数の場合は、地域課題の解決と脱炭素の同時実現という地域脱炭素・地域循環共生圏の考え方に沿った協業提案があった団体を優先して選定いたします。

また、過去に本会に参加した地方公共団体の応募も可能ですが、令和6年度に初めて参加する地方公共団体を優先する可能性があります。

③服装は問いませんが、自前の各地方公共団体の宣伝 T シャツ・法被・のぼり等ございましたら是非御持参ください。（T シャツ等に団体名がありましたら話したい方を見つけやすいです。）

4. 選定結果について

令和6年6月下旬頃に通知いたします。

5. 資料作成について

ご登壇が決定した地方公共団体は、当日のプレゼンテーション資料を作成し、指定する期日までにご提出をお願いします。

(1) 資料様式

形 式：PowerPoint 又は PDF、A4 横向きであれば様式は自由。

枚 数：不問です。3分以内にプレゼンテーションが収まる範囲で作成してください。

また、当日のプレゼンテーションには使用しない参考資料を添付することも可能ですが、どのページが参考資料に当たるのかを明示してください。

文字サイズ：14ポイント以上。フォントの指定はありません。

(2) 提出日時

令和6年7月8日（月）17：00まで

※オンライン事前面談（メンタリング）における専門家からのアドバイスを踏まえて、資料を修正していただく可能性があることから、暫定版での提出で構いません。

6. お問い合わせ先

不明点がある場合は、下記の担当へお問い合わせください。

担 当：環境省大臣官房地域政策課 地域循環共生圏推進室 安藤、坪倉、伊藤

電 話：03-5521-8328

E-mail：sokan-keikaku@env.go.jp

昨年度の開催レポート

本イベントは、令和5年度に第2回を開催し、地方公共団体30団体、企業60社にご参加いただきました。マッチングの機会を設けることに加えて、事前に準備（地方公共団体発表者のメンタリング）を行うことによって、マッチングの効果を高めています。メンタリングでは、地域の特徴・現状をふまえて地域脱炭素をどのように進めていきたいかを整理し、企業へのアプローチの仕方を事前に考えるお手伝いをいたします。

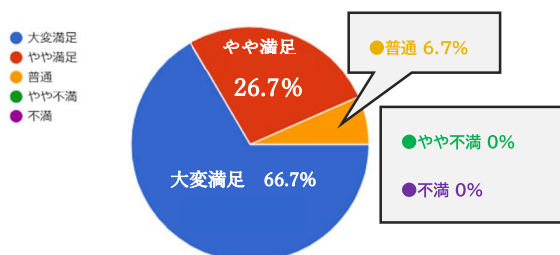
その結果、イベント終了後（4か月後）アンケートでは、「協業に向けて地方公共団体と企業の間で検討が継続している」といった回答が24地方公共団体（82件）、「具体的な協業内容が決まっている」との回答が7地方公共団体（上述の24団体と一部重複。10件のマッチング達成）と活発な交流が生まれました。

① 当日の様子



② 参加地方公共団体アンケート結果

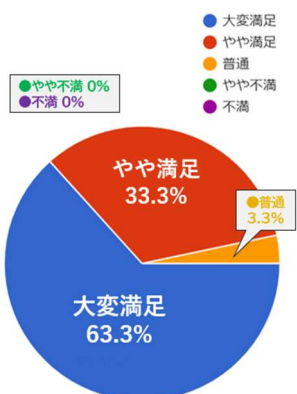
◆本イベントの満足度



（第2回参加地方公共団体コメント）

- 複数の企業から興味を持っていただき、具体的な相談へ繋がるのが期待されるため。
- 脱炭素に向けた様々な解決策を、事業者の方々から多く提案いただいた。
- 企業から技術等の情報提供だけでも大変参考になった。複数の企業とイベント後に連絡を取り合っており、今後の連携も期待できる。
- さまざまな企業の方、環境省の方とお話することができ、次の行動に移すきっかけになりました。

◆メンタリングの満足度



（第2回参加地方公共団体コメント）

- 的確な指示があり、スキルアップができた
- 今までにプレゼンした経験がなかったので、プレゼン資料の作成から非常に参考になりました。
- 自身のプレゼンについて、どの点を強化して伝えたほうが良いかなどを具体的に指摘いただき、プレゼン内容の改善につながった。
- 地方公共団体職員ではわからない企業側の視点でアドバイスをいただき、納得のいく内容にすることができた。